

小学校区コミュニティプロジェクト

1 [何のために?] ねらいや効果

コミュニティ活動について、取り組んでいる方々から学び、広めることにより、お年寄りから子どもまで人間味あふれる「つながり」をつくります。また、1万人程度の人口が適当で、子どもの参加を得やすく、拠点となる施設があるという理由で、小学校区を望ましいコミュニティ単位と考え、特色を活かしたコミュニティづくりに取り組みます。さらに、全市的なコミュニティ政策を確立し、コミュニティ間ネットワークをつくることにより、全体の環境改善、理想の環境社会をめざします。



関連する環境指標 (詳細は資料編参照)

理想とする小学校区コミュニティ数

2 [何をいつどのように?] 具体的な進め方

□A: 市民主体・行政共働 / □B: 行政主体・市民参加

1) コミュニティ活動に取り組む人や活動を知り合う

様々な機会を通じた人や活動との交流の場の創出	A	●●●●●●
まちかどネットワーク(生涯学習人材情報誌)との連携	A	●●●●●●
人や活動(団体)を通じてのネットワークづくり	A	●●●●●●

2) 小学校区コミュニティづくりの人や団体を募る

地区別環境寄合による地域住民とのつながりの継続	A	●●●●●●
家庭教育推進委員会等との継続的な交流と連携	A	●●●●●●

3) モデル学区での理想の小学校区コミュニティを育む

理想の小学校区コミュニティのあり方の調査研究	A	B	●●●●●●
モデル学区における理想の小学校区コミュニティづくり	A	B	●●●●●●

4) 全市的なコミュニティ政策の確立

コミュニティ活動のための利用しやすい拠点施設づくり	A	●●●●●●	
モデル学区での活動の検証と全市的な制度の検討	A	B	●●●●●●
コミュニティ政策の調査研究と制度の確立	A	B	●●●●●●
コミュニティ課の創設検討	B	●●●●●●	

17-20
H.16 21-25年度

3

[どこで?]
実施場所

日進市全域、モデル学区

4

[誰が誰と何を?]
取組主体と関係者の役割

取組主体 環境パートナーシップ組織（市民団体）
社会教育課、福祉推進課、まちづくり推進課、水と緑の課、総務課（市）

市（行政）

各課横断的なコミュニティ政策の確立
コミュニティ施設の整備
取組主体への支援

市民団体

プロジェクトの推進
団体間相互交流への参加
活動への参加・協力

事業者

活動への参加・協力

教育機関

活動への協力・支援

市民（滞在者等を含む）

活動への参加・協力

市職員

専門分野での支援

注）：取組主体としての役割、：関係者としての役割

5

[補足は?]
備考



小学校区の特徴をまとめた模造紙（梨ノ木は正式には梨の木）



平成15年度環境寄合の様子



コミュニティ寄合（家推と）の様子